



源流が白滝・天狗岳の一級河川

「町民の命を守り、暮らしを支える湧別川」

第11回ふるさと講座のテーマは「湧別川」です

湧別町を縦断し、オホーツク海に注ぐ湧別川は、流域に住む私たち湧別町民の命を守り、暮らしを支えるとても大切な存在です。

炊事に、お風呂に、洗濯に・・・湧別町のほとんどの家庭で毎日使われているのは、湧別川の水です。工場の水も・・・消防の水も・・・。加えて、30度を超える日が続き、干ばつが心配された今夏、渴いた畑を潤し、大切な農作物の成長を支えたのも湧別川の水でした。

南兵村一区・25号線辺りで大きく右折した後、湧別町の中心市街地から外れ、町の西端を静かに流れる湧別川・・・堤防が整備され、ここ数十年來洪水の記憶のない湧別川・・・町民が足を運ぶ機会の少ない湧別川は、今日、私たち町民の間で話題にのぼることも少なく、私たちの関心から遠い存在になっているように思われます・・・。

今回のふるさと講座は、湧別川を見守り・管理している北海道開発局・遠軽開発事務所の協力をいただいで行います。講座は、湧別川の“特徴”や“役割”、“魅力”など、湧別川をよく知る方が講師です。私たちのふるさとの川を知る貴重な機会です。ぜひ、ご参加ください。

第11回ふるさと講座「湧別川」

<第1部>「湧別川と人との関わり」(35分)

講師 中島 一之さん(ふるさと館JRY館長)

<第2部>「湧別川はどんな川か」(70分)

・湧別川の役割、特徴

講師 上嶋 耕太さん

(北海道開発局網走開発建設部遠軽開発事務所技官)

・湧別川にふれて感じたこと

講師 絹張 洋史さん

(ゆうべつアウトドアクラブYu-PAL会長)

<第3部>「感想。意見交換」(15分)

司会進行 深谷 聡さん(ふるさとから学ぶ会)

共催 ふるさとから学ぶ会

湧別町教育委員会

協力 北海道開発局網走開発建設部

遠軽開発事務所

ゆうべつアウトドアクラブYu-PAL

○実施日

令和3年11月27日(土)

午後1時30分～午後4時

(受付 午後1時～)

○会場 文化センターTOM

大ホール

○参加費 無料

○申し込み

教育委員会社会教育課へ

(TEL 5-3132)

☆締め切り

11月24日(水) (諸準備のため)

<大正11年8月25日・湧別川大洪水(上湧別郷土史研究会長・樋口雄幸記)>

——8月20日より降り始めた雨は24日台風となり豪雨は夜半より最大となり25日早朝には遠軽より下湧別村下流にかけて未曾有の大洪水となった。——

——名寄線湧別川第二鉄橋右岸橋脚を破壊した濁流は、南兵村一区部落の頭上を直撃する形で低い堤防を乗り越えだした——もし、この堤防が破れればこの部落の中心(国道242号の東側)を通り南兵村二区部落方面へ新しい湧別川が出来ようかという危機でもあった。——役場職員と部落民の緊急協議の結果、旧湧別川の古川跡にこの流れを変えることにした。かくして消防団員の手で溢水始めていた堤防が切り放されたので最も危険であった場所が助かったのである。——堤防を切って四の一区地区は洪水の勢いを半減することには成功したが、——

(濁流は)南兵村三区の畑地の中央を流れ更に北兵村一区のど真ん中を流れ、——農作物に甚大な被害を与えた耕地の流失を始め村内の数十ヶ所の橋の流失、道路の決壊など湧別川史上最大の被害を出すに至った。——

この洪水で四の三区から左岸札富美部落にかけて湧別川の流心が約二百間(約360m)も左岸方、札富美部落方に変えて札富美部落の農地が半減した。——

<昭63刊 網走開発建設部監修「治水事業の歩み」掲載、村上清司記「私と湧別川の昔話」より>

(※ 遠軽村の野上部落では、この湧別川大洪水で、一家8名が濁流に吞まれ死亡した)